

2020年度 電子シラバス

Approaches to Basic Research

教科名	Approaches to Basic Research
責任者名	坪井 美行(生理学 専任講師)
学期	前期
対象学年	3学年
授業形式等	演習

参考 (最終稿でなく2月3日稿)

関連資料

NEW

- [ABR-シラバス for 2020 final \(1\).pdf](#)

資料添付

◆担当教員

坪井 美行 (生理学 専任講師)
米山 隆之 (歯科理工学 教授)
小泉 寛恭 (歯科理工学 准教授)
深瀬 康公 (歯科理工学 専任講師)
掛谷 昌宏 (歯科理工学 専任講師)
篠田 雅路 (生理学 准教授)
鈴木 直人 (生化学 教授)
田邊 奈津子 (生化学 准教授)
津田 啓方 (生化学 准教授)
山口 洋子 (生化学 助教)
小林 真之 (薬理学 教授)
中谷 有香 (薬理学 助教)
今井 健一 (細菌学 教授)
田村 宗明 (細菌学 准教授)
神尾 宜昌 (細菌学 准教授)
田中 一 (細菌学 専任講師)
川戸 貴行 (衛生学 教授)
田中 秀樹 (衛生学 准教授)
中井 久美子 (衛生学 助教)
尾崎 愛美 (衛生学 助教)
高橋 富久 (解剖学 I 教授)
二宮 禎 (解剖学 I 准教授)
藤原 恭子 (解剖学 I 准教授)

大橋 晶子 (解剖学 I 助教)
磯川 桂太郎 (解剖学 II 教授)
山崎 洋介 (解剖学 II 准教授)
湯口 真紀 (解剖学 II 助手)
浅野 正岳 (病理学 教授)
尾曲 大輔 (病理学 助教)
福井 怜 (病理学 助教)
角田 麻里子 (病理学 助教)
網干 博文 (法医学 教授)
堤 博文 (法医学 専任講師)
近藤 真啓 (法医学 専任講師)
中野 善夫 (化学 教授)
佐藤 紀子 (健康科学 准教授)
三澤 麻衣子 (医療人間科学 専任講師)
越川 憲明 (特任教授)
今井 秀行 (歯科補綴学Ⅲ 兼任講師)
渡辺 孝康 (基礎自然科学分野 (化学) 助教)
村山 良介 (法医学 助教)
林 良憲 (生理学 助教)
平場 晴斗 (歯科補綴学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯科医学に関する新たな知見を得るための科学的創造精神と柔軟な思考を身につけることができる。

◆到達目標 (SBOs)

これまでに履修してきた知識を基に、①基礎医学の問題点や疑問点を見つけ出すことができる。②その問題点の解決の手段や実際に解決する能力を身につけることができる。

◆評価方法

研究に取り組む態度(50%)、成果報告書(30%)、成果報告会でのインパクト(20%)などを総合して判定し、成績評価表示で示します。優秀な研究の成果報告書は開示して、フィードバックを行います。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
坪井 美行	水曜日・土曜日 終日 1号館4階412号室	tsuboi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

教養と基礎医学教室の助教以上の教員と数名の学生で、研究計画の立て方、研究の遂行、結果の提示と評価、考察など基礎研究過程の一部を体験してもらいます。その過程で、成果報告書作成と成果の内容をプレゼンテーションしてもらいます。

◆DP・CP

[DP-5]新たな課題の解決策をみいだすために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦することができる。
[CP3-4]研究のプロセスを知り、自ら取り組むべき課題を発見し、挑戦・解決する基礎的能力を高める。

◆準備学習(予習・復習)

教員と十分話し合い、実験計画を立てること。その計画が遂行できるように十分な準備を行い研究に臨むこと。

◆準備学習時間

短い時間での研究なので十分に準備をして臨むこと。図書館での調べ方や文献検索なども含めて、準備学習は毎回1時間程度を充てること。

◆全学年を通しての関連教科

解剖学(2年)、組織学(2年)、生理学(2年)、生化学(2年生)、薬理学(3年後期と4年前期)、病理学(3年)、衛生学(3年)、法医学(6年)、歯科理工学(2年後期と3年前期)、細菌学(3年)、健康科学(1年前期)、医療人間科学(1年後期と2年)、化学(1年)

◆予定表

注意事項：添付資料の注意事項を確認のこと。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	全員	4.3	5 ~ 7	ガイダンス1 4月3日(金) 5~7時 限目	課題選択の手順を確認し、研究の倫理や実験動物に関するルールについて理解する。医中誌等での文献検索の方法を理解する。実験ノートの書き方を理解する。	坪井 美行	
	全員			ヒアリング1 4月3日(金)~ 4月7日(火)	希望選択課題の提出を行うため、担当教員に、担当教員を訪問しヒアリングを行う。	担当教員	
2	全員	4.7	5 ~ 7	ガイダンス2 4月7日(火) 7時限目 後半(16:30~ 16:50)	希望選択課題表を提出する。	坪井 美行	
	クラス委員			4月7日(火) 時間は後日連絡	1号館4階第12講堂に集合し、テーマごとに学生を配分します(時間は話し合いにより後日決定)。希望者数超過テーマについては抽選とします。抽選は世話人の教員が行います。	坪井 美行 田中 秀樹	
3	全員	4.10	5	ガイダンス3 4月10日(金) 5時限目	一次内定者の発表	坪井 美行	
	一次募集でテーマが決まらなかった学生			ヒアリング2 4月10日(金)~ 4月14日(火) 7時限目	一次募集でテーマが決まらなかった学生は、再度希望選択課題の提出を行うために、担当教員を訪問しヒアリングを行う。一次内定者は担当教員に挨拶に行く。	担当教員	

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
4	全員	4.14	7	ガイダンス4 4月14日(火) 7時限目 (16:00~)	二次募集の選択届提出および抽選(抽選は世話人の教員が行います。)	坪井 美行 田中 秀樹	
	全員			4月15日(水) 一斉メールで送信	研究テーマの最終決定の公表	坪井 美行	
5-1 6	火曜日 履修者			火曜日履修者特別研究 4月21日(火) ~ 7月7日(火) 5~7時 限目	全12回の特別研究の実施	⊕ 火曜日担当教員	
5-16	金曜日 履修者			金曜日履修者特別研究 4月17日(金) ~ 7月3日(金) 5~7時 限目	全12回の特別研究の実施	⊕ 金曜日担当教員	
17	火曜日 履修者	7.14	5 ~ 7	研究成果発表会 7月14日(火) 5~7時 限目	研究の成果をグループごとに報告する。そのことによって自分以外のグループの研究に触れることができる。	坪井 美行	
17	金曜日 履修者	7.10	5 ~ 7	研究成果発表会 7月10日(火) 5~7時 限目	研究の成果をグループごとに報告する。そのことによって自分以外のグループの研究に触れることができる。		

[閉じる](#)
[↑Topに戻る](#)